



神を仰ぎ 人に仕う

Chapel News

2021年 12月 3日(金)

No.7

「バツハの祈り」

今回は、クリスマスにちなんだ祈りをご紹介します。とはいっても、祈りの言葉そのものとして残されたものではありませんが、祈りとして用いることのできる言葉です。それは、J・S・バツハのカンタータにおける歌詞の言葉です。

彼は、ドイツの国教であるルーテル教会で音楽監督(カントール)を務め、一年を通した全ての礼拝の讃美のために作曲をなし、教会カンタータを生み出してきました。

そして、クリスマスにおいてお生まれになられた神の御子の名前が「イエス」と名付けられた「命名祭」(教会暦だと1月1日、キリストの誕生から8日目とされています)のためにも、カンタータを残しています。このカンタータは、教会暦を意識したクリスマス・オラトリオの第4部の中で演奏されます。その4部の第2曲の歌詞は、キリストがイエスと命名されたことを伝えるルカ福音書第2章21節のみで構成されています。また、第2曲以外の第4部を構成する全ての曲の中で、「イエス」という名前がうたわれていきますが、圧巻なのは、その最終曲のコラールの合唱で告げられる歌詞です。次のような歌詞です。

「イエスが 私の始まりを 正し
イエスが常に 私のもとに留まり
イエスが私の欲求に嚮(くつわ)を嵌(は)め
イエスのみが 私の願い求めであり
イエスが私の思いの内にあるように。
イエスよ、私をよろめかせないでください。」

この歌詞は、そのまま私たちの祈りの言葉として用いることができるものです。私達は、自分が一体どのような存在であるのか、自分が何のために生きているのかを、人生の困難な時に悩んだり、思い巡らせたりするものです。聖書は、その重要な人生の問いに明確な一つの解を与えてくれています。神の御子イエス・キリストこそ、私の人生の導き手だ、と。

あなたも、このクリスマスの時、ぜひイエス・キリストのことを知ってみませんか？

五十嵐成見(心理福祉学部兼人間福祉学部チャプレン)

2021年度 年間聖句

常に主を覚えてあなたの道を歩け。
そうすれば主はあなたの道筋をまっすぐにしてください。(箴言3章6節)

12月 月間聖句

「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」
(ルカによる福音書2章14節)

2021 年度秋学期全学礼拝 9月28日(火)~1月27日(木)

全学礼拝は火曜日~金曜日です。月に1度のチャペルでの対面礼拝週間は14時40分~15時10分で行われます。それ以外は、昨年度に引き続き Facebook でのオンデマンド礼拝配信となります。

聖学院教会祈祷会

毎週木曜日 18時40分~19時40分、緑聖ホールC室にて行っております。どなたでも自由にご参加ください。

主の祈り

天にましますわれらの父よ
ねがわくはみ名をあげさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ
我らの日用の糧を今日も与えたまえ
我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく
我らの罪をもゆるしたまえ
我らをこころみにあわせず 悪より救い出したまえ
国とちからと栄えとは
限りなくなんじのものなればなり アーメン



12月7日(火)

奨励者 篠田 真紀子
(日本キリスト教団浅草教会牧師)
司会者 五十嵐 成見
奏楽者 渡辺 善忠



前奏
讃美歌 112番1節
聖書 ルカによる福音書2章1~7節
(新約P.102)
祈禱
奨励 「それぞれのベツレヘム」
祈禱
讃美歌 112番5節
主の祈り
後奏

12月8日(水)

奨励者 小林 信人
(日本キリスト教団船橋教会牧師)
司会者 柳田 洋夫
奏楽者 相川 徳孝



前奏
讃美歌 95番1節
聖書 マタイによる福音書
1章18~25節 (新約P.1)
祈禱
奨励 「備えあれば憂いなし」
祈禱
讃美歌 95番3節
主の祈り
後奏

12月9日(木)

奨励者 鈴木 光
(日本キリスト教団勝田教会牧師)
司会者 木村 太郎
奏楽者 清水 貴子



前奏
讃美歌 94番1節
聖書 箴言3章6節
(旧約P.993)
祈禱
奨励 「人生の選択は間違えようがない」
祈禱
讃美歌 94番2節
主の祈り
後奏

12月10日(金)

奨励者 寺嶋 健一
(学務部特命部長)
司会者 菊地 順
奏楽者 今村 優子



前奏
讃美歌 97番1節
聖書 ペトロの手紙一3章8~12節
(新約P.431)
祈禱
奨励 「終わりに」
祈禱
讃美歌 97番3節
主の祈り
後奏

今後の全学礼拝(オンライン)奨励者のご案内

全学礼拝のFacebook ページには、リニューアルされたキリスト教センターのホームページからアクセスできます。

<https://scc.seigakuin-univ.ac.jp/movie/>

今後の全学礼拝(文書)のご案内

12月14日(火) 洛雲海先生 (総合研究所特任教授)
12月16日(木) 村瀬天出夫先生 (欧米文化学科准教授)
12月17日(金) 佐藤愛先生 (日本キリスト教団新松戸幸谷教会牧師)
12月21日(火) 木村太郎主事 (日本キリスト教団宇都宮教会牧師)
1月7日(金) 山口博先生(聖学院院長・女子聖学院中学校・高等学校校長)

クリスマス礼拝の案内(12月15日<水>)10:50~11:50

<メッセージ>

「この主のはしためにも」

ルカによる福音書1章46~48節、2章1~7節
高橋潤先生(日本基督教団銀座教会牧師)

高橋先生のプロフィール

聖学院や青山学院の宣教師、教授等の方々からの支援によって創立した、深川愛隣伝道所、愛隣保育園で生まれ育ちました。小学校から高校まで聖学院で学び、社会勉強後、東京神学大学を経て牧師になり、1987年より静岡教会、蒲原教会、中京教会の伝道師、牧師として教会に仕え、現在、銀座教会に仕えています。銀座にお越しの際は、教寄屋橋近くの銀座教会へどうぞ。「聖学院の関係者です」と声をかけてください。平日の正午礼拝、おすすめです。



次回のChapel News 発行日は、1月7日(金)です。